

基本目標

4

環境を守り育てるまち

地球の資源には限りがあります。これまで人々は、大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきましたが、その結果、資源の枯渇や環境汚染などを引き起こし、今ではこの問題は地球規模へと拡大しています。特に、地球温暖化の防止については、行政だけでなく、市民一人ひとりや事業者が積極的に取り組まなければならない課題です。

大和市は、水や空気をきれいにし、ごみの減量化、資源化を進めるとともに環境教育を推進するなど、環境への負荷軽減に配慮した取り組みを今まで以上に積み重ねていきます。

また、緑は生活にうるおいを与え、その保全は地球温暖化の防止にも効果的です。市内に残る貴重な緑地や農地を適切に守っていくとともに、まちの中に身近な緑を増やしていきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、環境への負荷を減らし、緑を大切にする、環境を守り育てるまちづくりを推進します。



基本目標を実現するための個別の目標



個別目標

4-1

環境への負荷を減らす

市民一人ひとりの身近な生活行動から、事業者や行政の活動にいたるまで、環境への負荷を減らすことに配慮した取り組みを進めます。

個別目標

4-2

まちの緑を豊かにする

うるおいの創出に欠くことのできない緑を、市民とともに守り育てていきます。

個別目標

4-1

環境への負荷を減らす

市民一人ひとりが、ごみの分別やリサイクルを進め、地域の美化活動に参加するなど、日々の生活の中での環境に対する意識を高めるとともに、事業者においても環境に配慮した取り組みを行うことが求められています。また、河川の水質向上にまちぐるみで取り組むことなどを推進し、生活環境を脅かす環境要因への対策を講じていきます。

大和市は、市民一人ひとりの身近な生活行動から、事業者や行政の活動にいたるまで、環境への負荷を減らすことに配慮した取り組みを進めます。



めざす成果

ごみの減量化、資源化が進んでいる

ごみの減量化、資源化が図られ、処理されるごみの量が減っています。また、ごみの収集や焼却処理、資源化処理が適正に行われています。

1

成果を計る指標

ごみの量（家庭系ごみ）

現状値（2007）	中間目標値（2011）	目標値（2013）
37,278t	37,135t	36,720t

ごみの量（事業系ごみ）

現状値（2007）	中間目標値（2011）	目標値（2013）
20,270t	19,132t	18,471t

リサイクル率

現状値（2007）	中間目標値（2011）	目標値（2013）
24.3%	26.0%	27.4%

※生物化学的酸素要求量（BOD）
Biochemical Oxygen Demandの略。水中の有機物を分解するとき、必要とされる酸素の量のことです。この数値が大きいほどその水は汚れていることになります。

※水洗化率
下水道が整備された区域内に住んでいる人のうち、水洗便所を設置して、実際に下水道を使っている人の割合です。

※環境基準
大気の汚染、水質の汚濁、地下水、土壌の汚染及び騒音に関する環境上の条件について、それぞれ人の健康と生活

環境を保護する上で維持されることが望ましい行政上の目標基準です。

基本目標を実現するための個別の目標

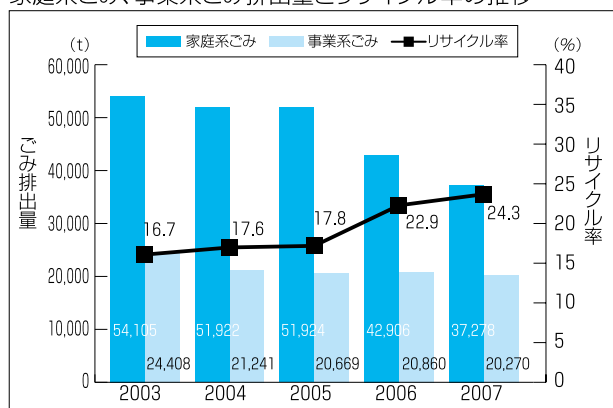
2	めざす成果	河川の水質が向上している		
		生活排水が適正に処理され、川の水がきれいになっています。		
		境川、引地川の生物化学的酸素要求量(BOD)*		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		境川3.6mg/ℓ	境川3.0mg/ℓ以下	境川3.0mg/ℓ以下
2	成果を計る指標	引地川2.2mg/ℓ		
		引地川2.0mg/ℓ以下	引地川2.0mg/ℓ以下	引地川2.0mg/ℓ以下
		水洗化率*		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		94.7%	96.0%	97.0%

3	めざす成果	生活を脅かす環境要因が改善されている		
		排出ガスによる大気汚染や、騒音、振動への対策が講じられ、良好な生活環境が守られています。		
		環境基準*項目不適合率		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		7.4%	5.7%	4.3%
3	成果を計る指標	公害苦情件数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		145件	139件	136件

4	めざす成果	環境に配慮して行動している		
		市民、事業者、行政が環境問題を認識し、環境への負荷軽減に配慮した行動をとっています。		
		環境に配慮している人が多いと思う市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		45.9%	57.0%	67.0%
4	成果を計る指標	1990年度と比較した二酸化炭素排出量の増減		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		110.2%	97.0%	91.0%

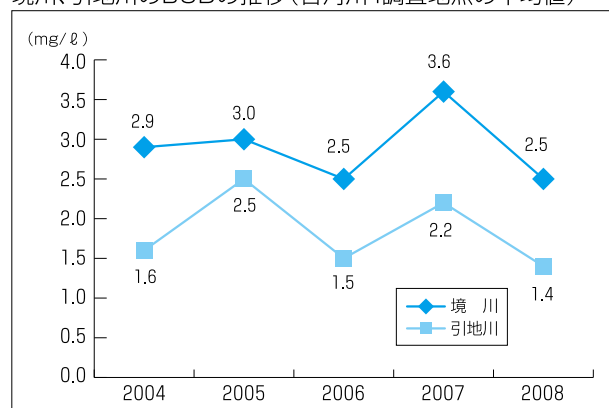
5	めざす成果	ごみのない清潔なまちが維持されている		
		市民が地域の美化活動に参加し、ごみのない清潔なまちで生活しています。		
		大和市クリーンキャンペーン*参加者数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		4,100人	4,500人	4,700人

家庭系ごみ、事業系ごみ排出量とリサイクル率の推移



資料:環境総務課(各年度集計)

境川、引地川のBODの推移(各河川4調査地点の平均値)



資料:生活環境保全課(各年度調査)

※大和市クリーンキャンペーン

5月の清掃の日、6月の不法投棄監視ウィーク、11月の大和市環境フェア月間(事業所周辺クリーン活動、緑と水辺のクリーン活動、道路クリーン活動、駅前

クリーン活動、ウォーキングコース・クリーン活動)、毎月の例月まち並み清掃などを実施しています。

個別目標

4-2

まちの緑を豊かにする

まちの中にある緑は、市民生活にうるおいをもたらし、地球温暖化の緩和や様々な生き物の生存にとっても重要な役割を果たしています。市内に残るまともりのある緑地や貴重な農地を保全し、活用していくとともに、生垣や街路樹などの設置、建物の壁面や屋上の緑化を進め、身近な緑を増やしていきます。

大和市は、うるおいの創出に欠くことのできない緑を、市民とともに守り育てていきます。



※農用地の利用権設定

小作権の移動を伴わない農地の貸借契約。農地の貸し借りが容易にできるため、農地の保全だけでなく、経営規模

拡大を目指す農家と、高齢化等により経営規模を縮小せざるを得ない農家の双方にとってメリットがあります。

※市民農園

農地の保全と有効利用を図るため、市民が露地栽培や草花の栽培を実践し、緑や土などの自然に親しみ農業体験をしていただく農園です。



めざす成果

緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる

自然を感じることでできる貴重な緑地が守られ、また、身近な緑が増えています。

成果を計る指標

保全を図っている緑地面積

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
92.9ha	92.9ha	92.9ha

民有地に設置された生垣延長(累計)

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
394m	500m	570m

大和市には、緑や公園が多いと思う市民の割合

現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
63.9%	64.4%	64.8%

めざす成果

身近な農地が大切にされている

農地が適正に保全、活用され、都市農業への関心が高まっています。

2

成果を計る指標

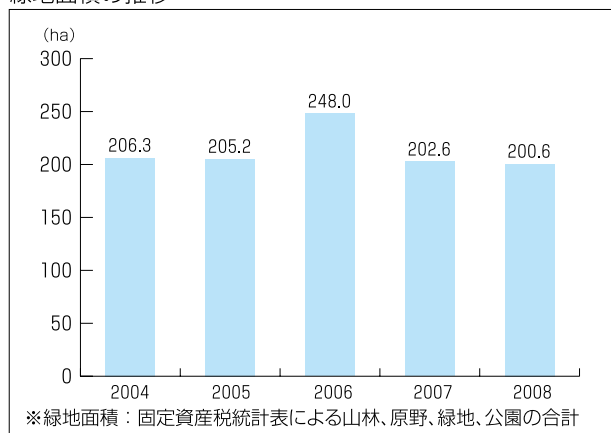
農用地の利用権設定*面積

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
2.8ha	3.9ha	4.0ha

市民農園*応募者数

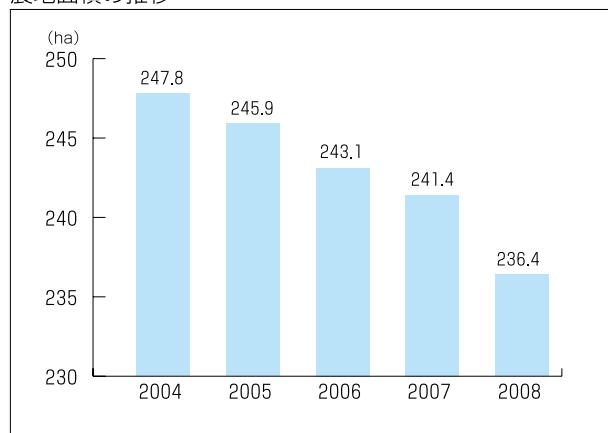
現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
592人	600人	600人

緑地面積の推移



資料:みどり公園課(各年度集計)

農地面積の推移



資料:農業委員会事務局(各年8月1日時点)